

結女だより

2023年1月1日発行

◎企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800



ノロウィルスの予防

ノロウィルスとは、嘔吐や下痢などの症状を起こすウイルスのことです。食中毒のような症状から、食べ物が腐敗しやすい夏の病気のイメージがあるかもしませんが、実は11月～3月に発生のピークを迎えます。

主な症状は、吐き気と激しい嘔吐・下痢・発熱です。

- ① トイレの後、食事の前には、石鹼と流水で30秒間手洗いをしましょう。
- ② 吐いてしまった時は、触らないようにビニール袋に入れて密封して処分し、部屋の換気を十分に行いながら塩素系消毒剤で消毒しましょう。
- ③ 食品は十分に加熱して食べましょう。
- ④ 症状が現れた場合はすぐ病院で受診する。

…などに気をつけましょう。

《一月》

今年もよろしく
お願いいいたします。

年も明けて、本格的な寒さとなります。小寒のあたり、強い季節風が日本海側に雪を降らせます。

暮れから例年ない大雪が降っていますが、気候変動によるものなのでしょうか。

反対に太平洋側の私たちは、お天気の日が続きます。

さて、今年はどのような一年になりますでしょうか。コロナ禍ですが、穏やかに過ごしたいものです。



(ひとことコラム)

お昼ご飯を食べながら出てきた話を少しご紹介します

爽やかな甘みだけじゃなく、健康にも良いことで人気の「ブルーベリー」。都内の収穫は30年以上トップに君臨していた長野県を抜いて、2015年以降全国1位です。

ブルーベリーは収穫後に「追熟」することはほとんどなくて、熟した実を収穫してすぐ食べるのが一番おいしいとされます。

市場などに出荷するのではなく、都内の栽培農家が消費者に近い立地を生かし、観光農園としてレジャーとしても楽しめる農業にしたのが成功の秘訣のようです。

近年ブルーベリーの観光農園が急増しているのが練馬区で、7~8月には30園が開園するので、今年は娘と行ってみようと思います。



子供から大人まで幅広い人気がある総菜パンの定番、カレーパンのルーツは諸説ありますが、1927年東京・深川区（現江東区）のパン屋さんで誕生したという説が有力です。

そのころ人気だった、カレーとカツレツをパンに応用できないかと考え、パン生地にカレーの具材を包み、カツレツのように衣をつけて揚げる方法を生み出しました。斬新さと腹持ちの良さで大ヒット。のちにカレーパンと呼ばれ親しまれるようになったそうです。



十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。

例えば2023年は「癸卯(みずのと・う)」

「癸」は十干では10番目であり、物事の終わりと始まりを意味する他、「揆（はかる）」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大さになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だと言われています。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われています。

この2つの組み合わせである癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているといえそうです。

2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。